



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

1998~99年度 国際ロータリーテーマ

ロータリーの夢を追い続けよう

FOLLOW YOUR ROTARY DREAM

新 博夫会長テーマ『明るく、楽しいロータリー』

◎ 出席報告

会 員 数	67名	出 席 率	函 館 北	9月27日	90.48%
出 席 席	52名		函 館 東	9月29日	85.26%
欠 席 席	15名		函 館	9月24日	88.68%
他クラブ出席	5名		函館五稜郭	9月25日	100.00%
出席合計	57名		函館亀田	9月28日	70.91%
除 外 者	4名				

・テレフォンサービス (例会移動案内) 電話23-2377番

次回・10月28日
プログラム

「 卓 話 」



10月11日 プルーン狩り (築城秋紅園)

《第1701回例会》 第15号 10月21日 (水)

本日のプログラム

「 移 動 例 会 」
あかまつの里ななえ

★会 長 新 博夫 ★幹 事 小笠原 孝

例会場: 函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL 23-5151
例会日: 毎週水曜日 12:30-13:30 事務所: 函館市大手町5-10 二子ビル3階 TEL 23-3870

1998～1999

〈第1700回例会〉第14号

10月11日の記録

◎移動例会（家族会）

1. 実施日 平成10年10月11日（日）

2. 内 容 プルーン狩り（築城秋紅園）
昼食（バーベキュー）（石井農場）
昆布館見学

3. 参加者数 28名

4. 活動状況

当日は好天気恵まれ、絶好の行楽日和となりました。午前10時40分頃にバス組・マイカー組とも築城秋紅園に集合し、若干の「プルーン狩りマナー」を聞いた後、早速プルーン狩りに取り掛かりました。食べごろまでにはまだ2週間は早いと言う隣の畑のりんごを横目で見ながら、各自数個を食べ、かつ、お土産に買って帰りました。また、現地では別途収穫したりんごジュースをお土産に買う方も居られました。

次に石井農場へ移動してバーベキューの昼食を摂り、釣りを見学したり、山羊と記念写真を撮ったりしながら1時間半を過ごしました。

最後に、当初予定には入っていませんでしたが昆布館へ行き、大パノラマ映像を堪能し館内を見学の後2時30分頃解散しました。

以上の通り、秋の1日を楽しく過ごす事の出来た家族会でした。

◎幹事報告

特に無し。

◎ロータリーの誕生とその成長

今から93年前の1905年、そのころ経済恐慌で人心の荒れすさんでいたアメリカ社会、特にシカゴの状態を憂えた、青年弁護士ポールP.ハリスが、3人の友人と語らって、2月23日、第1回の会合を開いたのか、ロータリークラブの誕生であります。ロータリーとは、会員が持ち回りで順番に、集会を各自の事務所で開いたことから名付けられました。このクラブは着実に成長し、現在159の国家に広められ、クラブ数29,113、会員総数は1,201,595人（1998年6月30日R I公式発表）に達しています。これらクラブをメンバーとして国際ロータリーが構成されています。

◎日本のロータリー

わが国のロータリークラブは1920年（大正9）10月20日、当時、三井銀行の重役であった米山梅吉氏が、初めて東京にこれを創立し、翌10年4月1日、世界で855番目のクラブとして加盟承認されました。その後第2次世界大戦の結果、一時国際ロータリーから脱退するのやむなきに至ったこともありましたが、その間もよくロータリーの精神を堅持して会合に努め、その神髄と組織を維持し、戦後国際ロータリーに復帰するや、ますます発展、現在では北は北海道、南は沖縄まで、クラブ数2,260、会員数127,119人（6月末）に達し、なおすべての都市、すべての町にその理想の翼を広げる努力を続けております。会員は地域内の理想にもえる堅実な実業家、専門職業人の中から定款により、1業種1人を選び、週1回のクラブ例会出席によって、各種職域人の交友を通じて地域社会への奉仕の機会を得ようとはかっております。

（ロータリーの友より）